

III 臨床編
III-9 小児疾患・生殖器疾患

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
IgA血管炎	あいじーえーけっかんえん	IgA vasculitis	IgAV	ヘンッポ・シェーンライン紫斑病、アレルギー性紫斑病、アナフィラクトイド紫斑病、	紫斑、腹痛、関節痛を主徴とする全身性血管炎。皮膚および他の部位の小型血管にIgAを含む免疫複合体が沈着する。
IgA血管炎関連腎炎	あいじーえーけっかんえんかんれんじんえん	IgA vasculitis nephropathy	IgAVN	紫斑病性腎炎	IgA血管炎に合併する二次性糸球体腎炎。
Alport症候群	あるぽーとしょうこうぐん	alport's syndrome		アルポート症候群、遺伝性腎	COL4A5等の異常により慢性腎炎、難聴、眼合併症を呈する症候群で、しばしば末期腎不全へと進行する。
エストロゲン	えすとろげん	estrogen		卵胞ホルモン	主に卵巣で作られる女性ホルモン。8.9歳ごろから分泌量が増え、思春期に乳房の成長や子宮・膣の発育などを促す。
炎症性腸疾患	えんしょうせいちょうしっかん	inflammatory bowel disease	IBD	潰瘍性大腸炎、クローン病	寛解と再燃を繰り返し消化管に炎症を引き起こす原因不明の疾患の総称。潰瘍性大腸炎とクローン病がIBDの代表的な2疾患。
潰瘍性大腸炎	かいようせいだいちょうえん	ulcerative colitis	UC	炎症性腸疾患	主として大腸の粘膜を侵し、びらんや潰瘍を形成する原因不明の大腸のびまん性非特異性炎症。
過期産	かきさん	post-term (postmature) delivery			妊娠42週（満294日）以後の分娩をいう。
拡張型心筋症	かくちょうがたしんきんしょう	dilated cardiomyopathy	DCM	うっ血型心筋症	進行性に心筋収縮能の低下きたし、左室のびまん性収縮障害と拡大を伴う心不全症状をきたす心筋疾患。
川崎病	かわさきびょう	Kawasaki's disease	KD	皮膚粘膜リンパ節症候群、MCLS	主に乳幼児が罹患する原因不明の全身性血管炎症候群。全身性中型・小型血管炎をきたし発熱、発疹、冠動脈病変など様々な症状を惹き起こす。冠動脈病変は時として致死的となる。
急性壊死性脳症	きゅうせいえいしせのうしょう	acute necrotizing encephalopathy	ANE		小児の急性脳症のうち、浮腫性壊死をともなう多発性脳病変が、両側の視床を含む特定の部位に左右対称性に生じるタイプ。
クローン病	くろーんびょう	crohn's disease	CD		本疾患は原因不明で、主として若年者にみられ、潰瘍や線維化を伴う肉芽腫性炎症性病変かなり、消化管のどの部位にも起こりうる。
交換輸血	こうかんゆけつ	exchange transfusion	ET	全血交換輸血	患者血液を瀉血しながら血液または血液製剤を輸注し置き換えることで、病因物質を除去し病態の改善を図る治療法。本法は新生児溶血性疾患の治療法として開発された。
極低出生体重児	ごくていしゅつせいたいじゅうじ	very low birth weight infant	VLBW		出産時の体重が1,500 g未満の新生児。
ゴナドトロピン	ごなどとろびん	gonadotrop (h) in, gonadotropic hormone	Gn	性腺刺激ホルモン	性腺に作用し性腺の発育促進、機能調整などの働きをもつホルモン。
子癇	しかん	eclampsia			妊娠20週以降に初めて痙攣発作を起こし、てんかんや二次性痙攣が否定されるもの。
子宮内胎児死亡	しきゅうたいたいいじしぼう	intrauterine fetal death	IUFD		妊娠持続期間を問わず、胎児発育が停止し胎児の心拍動、運動などの生命現象が全く消失し死亡したもの。
死産	しさん	stillbirth, fetal death			妊娠期間にかかわらず、母体から受胎による生成物が完全に排出または娩出されるに先立って死亡した場合。
自然流産	しぜんりゅうさん	spontaneous abortion			妊娠22週未満において、何ら人工的操作を加えることなく、種々の原因で妊娠が中断すること。
若年性特発性関節炎	じゃくねんせいとくはつせいかんせつえん	juvenile idiopathic arthritis	JIA	若年性関節リウマチ、小児リウマチ	16歳未満に発症し、5週間以上持続する原因不明の慢性関節炎。全身型と少/多関節型等に分けられる。
習慣流産	しゅうかんりゅうさん	habitual abortion			連続3回以上の自然流産を繰り返した状態。
常染色体顕性多発性嚢胞腎	じょうせんしよくたいけんせいいたはつせいのうぼうじん	autosomal dominant polycystic kidney	ADPKD	常染色体優性多発性嚢胞腎	ポリシステンをコードするPKDの異常により腎嚢胞を形成する。両腎の段階的な腫大をもち、60歳代で半数が腎不全に進行する。
常染色体潜性多発性嚢胞腎	じょうせんしよくたいせんせいいたはつつのうぼうじん	autosomal recessive polycystic kidney	ARPKD	常染色体劣性多発性嚢胞腎	PKHD1異常により、腎臓と肝臓の著明な肥大と小嚢胞の集簇がみられる。発症頻度は低いが、幼少期に腎不全に至ることもある。
人工流産	じんこうりゅうさん	induced (artificial) abortion		人工妊娠中絶	人工的操作により妊娠22週未満の妊娠を中断すること。
新生児死亡率	しんせいじしぼうりつ	neonatal mortality rate			生後28日未満の死亡を新生児死亡と定義し、1年間の出生数1,000件に対する1年間の新生児死亡数の比で表す。
正常分娩	せいじょうぶんべん	normal labor (delivery), eutocia			正期(37～41週)に自然に陣痛が発来し成熟胎児が経腔的に前後頭位にて娩出し母児ともに障害や合併症がなく、予後良好であった分娩。
先天性腎奇形(腎尿路形態異常)	せんてんせいじんきけい(じんにょうろいじょう)	congenital renal anomaly (congenital anomalies of the kidney and urinary tract)	CAKUT	腎無形成、低形成腎、腎異形成	生まれつきの腎臓の形成異常や閉塞性尿路疾患などを含む概念。小児慢性腎臓病や末期腎不全の最大の原因疾患。
先天性代謝異常	せんてんせいいたいしやいじょう	inborn error of metabolism		先天代謝異常	生まれつきの特定の酵素の欠損や機能低下により生じる疾患。早期発見により発症や重症化を予防するため、新生児マス・スクリーニング検査が行われる。
巣状分節性糸球体硬化症	そうじょうぶんせつせいしきゅうたいこうかしょう	focal segmental glomerulosclerosis	FSGS	巣状糸球体硬化症, focal glomerulosclerosis (FGS)	臨床的にタンパク尿(通常はネフローゼ症候群)を呈し、一部(巣状)の糸球体に部分的な(分節性の)硬化病変を認め、電顕にて広範な糸球体上皮細胞の足突起の消失(effacement)を呈する症候群。多くは急速に進行し、ステロイド抵抗性で末期慢性腎不全に進行する場合も多い。さらに腎移植後の再発も多く、予後の悪い疾患。
超低出生体重児	ちようていしゅつせいたいじゅうじ	extremely low birth weight infant	ELBW		出産時の体重が1,000 g未満の新生児。
低出生体重児	ていしゅつせいたいじゅうじ	low birth weight infant	LBWI		出産時の体重が2,500 g未満の新生児。
妊娠高血圧症候群	にんしんこうけつあつしょうこうぐん	hypertensivedisorders of pregnancy	HDP	妊娠中毒症	妊娠20週以降、分娩後12週まで高血圧(収縮期血圧が140 mmHg以上もしくは拡張期血圧が90 mmHg以上)がみられる場合、または、蛋白尿(1日300 mg以上)を伴う場合。
ハイリスク妊娠	はいりすくにんしん	high-risk pregnancy			妊娠期間中あるいは分娩後間もなく母児のいずれかまたは両者に重大な予後が予想される妊娠。
非典型溶血性尿毒症症候群	ひてんけいようけつせいにようどくしょうしょうこうぐん	atypical hemolytic uremic syndrome	aHUS		補体制御異常により発症する溶血性尿毒症症候群(補体関連HUS)。
hMG-hCG療法	へいめむじーえいちしーじーりょうほう	hMG-hCG therapy		ゴナドトロピン療法	hMG投与の後hCGを投与することで、ゴナドトロピンの分泌障害による無排卵症に排卵を起こす療法。
ホルモン補充療法	ほるもんほじゅうりょうほう	hormone replacement therapy	HRT		エストロゲン欠乏に伴う諸症状や疾患の予防や治療を目的に考案された療法で、エストロゲン製剤を投与する治療の総称。
続発性無月経	ぞくはつせいむげつけい	secondary amenorrhea			妊娠していないにもかかわらず3ヵ月以上月経がない状態を指す。原発性と続発性がある。
無月経	むげつけい	amenorrhea			周期的な月経が発来すべき年齢層の婦人において月経がない状態。
溶血性尿毒症症候群	ようけつせいにようどくしょう(せい)しょうこうぐん	hemolytic uremic syndrome	HUS		溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全を三徴とし、小児では志賀毒素産生性大腸菌(STEC)に感染による発症が多い。
レチノール結合〔性〕蛋白	れちのーるけつごうたんぱく	retinol binding protein	RBP		ビタミンAの輸送蛋白で、主に肝臓で作られ、分子量2.2万。短期間の栄養状態や肝の蛋白合成能を速やかに示す指標となる。